

無料制作工程マップ

90秒ワンコーラスからフルコーラス完成まで

DTM初心者が止まりやすい場所を、音出し、コード、ドラム、メロディ、90秒ワンコーラス、フルコーラスの順番で整理した1枚マップです。

01

音出し

DAW、音源、出力先を確認し、録音と再生ができる状態を作る。

02

コード

C、Am、Dm、Gなどの4小節で曲の床を作る。

03

ドラム

口で歌えるリズムをキック、スネア、ハイハットに置き換える。

04

鼻歌

鍵盤で探す前に声でメロディの形を残し、あとでMIDIへ移す。

05

90秒

Aメロ、Bメロ、サビ、終わりを小さく作り、音声として書き出す。

06

フルコーラス

核を残してイントロ、2番、間奏、ラストを増やす。

90秒で作る順番

時間	役割	作ること
0:00-0:08	イントロ	コードを薄く鳴らす
0:08-0:32	Aメロ	音数を抑えて鼻歌を置く
0:32-0:48	Bメロ	密度を少し上げる
0:48-1:16	サビ	音域、音数、ドラムを広げる
1:16-1:30	終わり	短く閉じて書き出す

完成判定

1. 音が出る
2. コードがある
3. ドラムがある
4. メロディがある
5. Aメロとサビの差がある
6. 書き出して聞ける

止まった時に戻る場所

- 音が鳴らないなら、音出しと出力先へ戻る。
- 曲に聞こえないなら、コードだけでなくドラムと鼻歌を重ねる。

- 平坦に聞こえるなら、4小節目、8小節目、サビ前だけ変える。
- 長くできないなら、90秒の核を確認してから場を増やす。

次に作るもの

このマップの目的は、勉強項目を増やすことではなく、1曲完成までの順番を見失わないことです。90秒ワンコーラスを書き出したら、弱い場所を1つだけ直して、フルコーラスへ広げます。

古賀稔宏の作曲ノート / kogamusic.net